


第8回世界盆栽大会inさいたま推進事業 について

The 8th World Bonsai Convention, SAITAMA CITY



第8回世界盆栽大会開催概要

- 大会名 第8回世界盆栽大会 in さいたま
The 8th World Bonsai Convention, SAITAMA CITY
- 開催趣旨 盆栽を通じて世界の盆栽愛好家が集い、親善を深めるとともに、盆栽文化の普及と技術向上、国際間の親善・交流を目的として開催する。
- テーマ 盆栽、～次の100年へ～ 「Bonsai, ～Towards the Next 100 Years～」
- キービジュアル・ロゴ 
- 主催 第8回世界盆栽大会 in さいたま実行委員会 [事務局:(一社)日本盆栽協会]
- 共催 さいたま市
- 会期 2017年4月27日(木)～30日(日) [4日間]
- メイン会場 さいたまスーパーアリーナ、大宮ソニックシティ、パレスホテル大宮
- サブ会場 武蔵一宮氷川神社、さいたま市大宮盆栽美術館、大宮盆栽村
- 来場者数 世界盆栽大会参加者 1,200人(想定)
[対象:日本を含む世界各国の盆栽愛好家]

大会推進体制

第8回世界盆栽大会 in さいたま

主催 実行委員会
事務局 (一社)日本盆栽協会
■市補助事業
大会運営

協調・連携

補助金交付
資金計画監督
適正化の確保

共催 さいたま市
■市実施事業
大会関連事業(盛り上げ事業)実施

①国際会議観光都市として、都市イメージの向上

世界からの来場者に対し、地域ぐるみの「おもてなしの心」で対応し、「国際会議観光都市さいたま」にまた来たいと思われるような大会とする。

②魅力ある文化芸術資源である盆栽文化振興

盆栽に関する知識や技術の向上を図り、盆栽文化の振興に寄与するとともに、市民一人ひとりが地域のもつ「盆栽文化」を誇りに思える大会とする。

③魅力ある地域資源である伝統産業・観光振興による地域活性化

大会を通じてさいたま市の多彩な地域資源・伝統産業、ビックイベントなどを世界に向けて発信する。

④OMIYA BONSAIブランドを確立・発信する大会

大宮盆栽を最上級ブランドとして発信するとともに、国内外の市場拡大に向けたプロモーションを推進する。

実行委員会の役割

	事業内容 (市の目的に寄与する事業)	事業内容
運営	①都市イメージ向上 大会広報	大会企画・運営 事務局運営
催事	①都市イメージ向上②盆栽文化振興 ③地域活性化④大宮盆栽のブランド確立 開会式(企画・運営) 盆栽展示(会場関係・装飾) デモンストレーション・ワークショップ 市民参加プログラム(企画・運営) 地域産業参加(企画・運営)	レセプション(企画・運営) 盆栽展示(運営) デモンストレーション・ワークショップ(運営) 商談会・即売会(企画・運営)
受入	①都市イメージ向上 参加者利便性向上 (シャトルバス運行・大会登録システム)	

→ 市の補助事業の目的に合致するものとして、市補助金額の算出根拠とする。

大会関連事業(盛り上げ事業) (案)

■大会機運醸成

事業名	所管	事業概要
市民が育てた盆栽展示(盆栽作製体験型講座)	観光国際課	公民館や市内企業での盆栽作製講座開催
各区小学5年生盆栽体験	観光国際課	5年生への盆栽作製講座開催
盆栽大会応援色紙	観光国際課	著名人から応援色紙の募集・展示
さいたま市Walker、観光情報誌	観光国際課	大宮盆栽村の特集号発行

■広報事業

事業名	所管	事業概要
デジタルサイネージ	観光国際課	大宮駅デジタルサイネージ活用
大宮盆栽HP運営	観光国際協会	HP、フェイスブックの運営
世界盆栽大会PRツール作成	観光国際課	PR物作成
JETRO、国際交流基金、外務省地域連携室との連携	観光国際課	海外への広報